

金融ユニオンの24春闘

三菱UFJ銀行 賃上げ回答、しかし格差拡大

物価高騰でも賃上げ実施半年遅れ

金融ユニオンは春闘方針で「賃上げの実施時期について、妥結の時期が4月以降になる場合であっても賃金改定は4月に遡って行うこと」を強調しました。

トップメガバンク三菱UFJ銀行は、近年、多数派の従業員組合との合意を口実に、賃上げ時期を4月に行わず、物価高騰が深刻になっているにもかかわらず24春闘では「9月実施」という半年近い賃上げ実施の延長回答を行ってきました。

金融ユニオンは団体交渉で「最高益決算の銀行が物価高騰で苦しむ労働者への賃上げを4月から実施しないのは許せない」と厳しく追及しました。

三菱UFJ銀行は、「賞与を含めると8～9%の引き上げとなる」としていますが、5月に支給された「特別一時金」では正行員15万円、専任行員9万円、嘱託契約社員6万円、フルタイム契約社員3万円、パートタイム契約社員1万5千円などで格差是正どころか逆に格差を広げるものとなりました。

そのほかの職場では、明治安田オフィスサービス（MYOP）が、正社員の賃上げ5千円～7千円、契約（月給制）社員の賃上げ5千円、定時（時給制）社員は23年10月の最低賃金改定時に時給40円引き上げており今回賃上げなし。

退職金制度の創設については「親会社（明治安田生命）のグループ子会社として親会社の方向性を踏まえで検討するが、現時点において退職金制度を導入する予定はない」というものでしたが、臨給のフィードバックは「本人と上司が納得するまで話し合う運用」を約束しています。

パート労働者の退職金を要求 静岡銀行で

大阪シティ信金は賃上げ平均1万6320円4・38%（前年1万2037円3・28%）、初任給を2万5千円引き上げ大卒23万5千円、短大卒21万5千円と、全て前年度の引き上げ額を上回る賃金改定を実施しました。ただ、65歳以降の雇用延長要求については、明確な回答が得られていないため、交渉を継続中です。

パート労働者への退職金を要求 静岡銀行で

静岡銀行では定例給与比3%相当額の賃上げ回答が出され、初任給1万円の引き上げに伴う若年層の体系補正を含めると概ね3.4%の賃上げとなりました。しかし、パート時給は50円の引き上げなど、正規・非正規はさらに広がっています。その他持株会補助金増額、福利厚生施設の拡充、インフルエンザワクチン費用補助の恒久化（上限5千円）、忘年会・新年会等懇親会費用補助の再開・拡充（上限8千円）など回答がありました。

しかし、組合が要求し続けているパート労働者に対する退職金要求への回答がなかったため、組合は納得いく回答を引き出すまで粘り強く交渉していく方針です。

東京金融取引所では全社員に4千円のベースアップがなされ、荘内銀行でも23年度・24年度の合計回答が今期あり、一時金を含めた合計で5%相当の賃上げとなっています。（[金融共闘ホームページから](#)）